

かめやま 社協だより

2023.1
第72号

地域の声をカタチに

— のぼのあんしんネットができるまで —



いつまでも安心して 暮らし続けられる地域をめざして

～地域における
しくみづくりのお手伝い～

本会では、誰もが住み慣れた地域で安心して、自分らしく暮らしていけるよう、地域の実情に応じたしくみづくりを進めています。

今回は、ある相談をきっかけに、能褒野町自治会のみなさんと一緒になって進めた「のぼのあんしんネット」の取組についてご紹介します。

「のぼのあんしんネット」ができるまで

家族からの相談

「認知症状があり、独り歩きをする本人を家族だけで見守ることが難しく、困っている」との相談がありました。

地域での見守りについて考えるため、地域の自治会長、民生委員児童委員、亀山警察署などにも参加を呼びかけ、会議を開催しました。

会議の中で、参加した地域住民から「認知症についてもっと知れる・学べる機会があればいいな。」との声が上がりました。

【能褒野町 Data】

人口：2,200 名 927 世帯
(R4.10.1 現在)

高齢化率：15.9%
鈴鹿市のベッドタウンであり、
近年人口も増えつつある。



地域の声



地域みんなで認知症について学ぼう！

能褒野町公民館において地域住民を対象とした認知症サポーター養成講座を開催しました。

参加者から「地域内で認知症の高齢者の方などの情報を教えてもらえたら、見守りができると思う。」との意見が出ました。

地域でなにかできることはないかな？

地域住民の声が元になり、認知症の高齢者など行方不明者が発生したときの情報共有について、関係機関も一緒になって考えていくこととなりました。



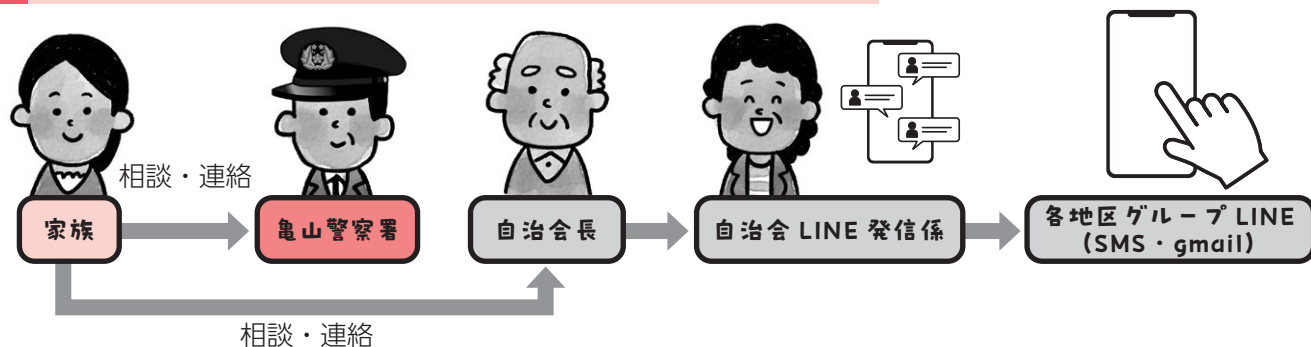
話し合いの場づくり

令和3年12月から計6回、話し合いの場を設定しました。参加者が意見を出し合い、もともとあった自治会LINEを活用して高齢者の方などが行方不明になった際に、スムーズな発見に繋がられるよう、情報共有をすることになりました。



自治会長、民生委員児童委員、老人会会長、亀山警察署、亀山第1地域包括支援センター、基幹型地域包括支援センター、生活支援コーディネーターが参加しました。

話し合った結果…「のぼのあんしんネット」が完成！



模擬訓練

実際に行方不明者が発生した際にどのような動きになるのかを確認するため、地域で活動している「のぼのサロン」の時間を使って、本人役・家族役・地域住民役などの配役を決め、模擬訓練を実施しました。

訓練終了後には、亀山警察署から「このように実際にやってみることは大切。ぜひこれからも続けていただきたい。」とコメントをいただきました。

参加者からは、「具体的なイメージがわいた。」との声が聞かれました。



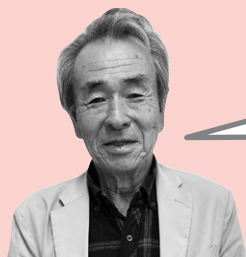
地域住民への周知

組長会で組長に対して、このしくみについて説明を行いました。また、地域住民に対しては回覧文書を配布し、周知しました。

LINE テスト配信

実際、どのようにLINEが配信されるのかを地域住民に知ってもらうため、地区の一斉清掃終了後に、LINEのテスト配信を実施しました。

「のぼのあんしんネット」への思い



能褒野町自治会長
野村 幸男 氏

今ある自治会LINEを使って、簡単に情報を共有できるようなしくみになったかと思います。作っただけで満足するのではなく、定期的に訓練を行うなど、より一層の周知を図り、このしくみを地域に根付いたものにしていきたいです。

市内で「うちのおばあさんが夜になっても帰ってきません。」というような相談をいただくことが増えつつあります。このような取組が市内全体に広がっていくことで、早期発見につながるなどより安心して生活できる亀山市になっていくのだと思います。



亀山警察署 川崎警察官駐在所
笹之内 潤一 氏



新年のご挨拶

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は本会の活動に対しまして、深いご理解と格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、長引く新型コロナウイルス感染症は、地域の暮らし方に大きな影響を与えています。コロナ禍に対応した生活様式を模索する中で新しいつながり方も生まれてきており、改めて福祉の重要性、つながり続けることの大切さを実感しています。

本会といたしましては、多様化・複合化する福祉課題に対応

するため、成年後見に関する相談窓口の設置や、重層的支援体制整備事業など相談を広く受けられる体制の充実を図り、課題解決に向け取り組んでいるところであります。

本年も役職員一体となって、市民の皆様の期待と信頼に応えられるよう地域福祉の向上に努めてまいりますので、住民の皆様には、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人
亀山市社会福祉協議会
会長 榎谷 英一



第18回亀山市社会福祉大会を開催しました

11月17日(木) 亀山市文化会館中央コミュニティセンターにおいて、市と市社会福祉協議会の共催で、「第18回亀山市社会福祉大会」を開催しました。市内における福祉関係者120名以上の方々にご出席いただき、民生委員児童委員、社会福祉施設職員、団体、ボランティア、自治会など長年地域福祉に貢献されている3社16団体25名の表彰を行いました。

記念講演には一般社団法人hito.toco 宮武将大氏をお招きし、『「0」を「1」に変え人と社会を心でつなぐ～理解と支援、当事者の視点から～』と題し、宮武様自身の小学生からの約8年間のひきこもり生活の経験談を通して、わかってもらうこと、回復や改善には関係性や対話が重要であることをご講演いただきました。

亀山市において更なる地域福祉の推進のため、大変貴重なお話を聞くことができました。

被表彰者・団体 (敬称略・順不同)

亀山市長表彰

◆社会福祉施設等功労者 2名

鈴木 聡太 福森 美保

◆ボランティア功労者 2名

木崎 慶子 山木 幸代

亀山市長感謝

◆社会福祉事業寄附 1団体

忍田弘法院弘志会

亀山市社会福祉協議会 会長表彰

◆民生委員児童委員功労者 1名

大杉 美紀

◆社会福祉施設・団体等功労者 2名

矢田 彩 柳本 翔太

◆福祉委員功労者 6名

岡田 三枝子 櫻井 さち子

千種 田づ子 長谷川 静子

渡瀬 千恵 種子田 志保子

◆ボランティア功労者 10名

金丸 絹代 草川 千賀子

佐久間 はつ子 豊田 ます子

駒田 昌子 水野 知枝

阿部 恭子 櫻井 なほみ

岡安 しげ子 山中 昭枝

亀山市社会福祉協議会 会長感謝

◆社会福祉事業寄附 3社3団体2名

株式会社カメラマテック 株式会社スズカ

株式会社綿清商店

古河電機工業労働組合三重支部青年委員会

ボーイスカウト第4団カブ隊ビーバー隊

三重県労働者共済生活協同組合

北川 智 宮坂 利樹

◆社会福祉協助者 12自治会

ひとみヶ丘自治会 みどり町1自治会

平尾自治会 和田団地第2自治会

川崎町町自治会 中木戸自治会

天神三一二自治会 レアルタウン亀山自治会

中町4自治会 西新田自治会

北野町自治会 西町四丁目自治会





特別養護老人ホーム 亀寿苑



特別養護老人ホーム 華旺寿



特別養護老人ホーム 安全の里



オンラインでつながる! 中学生福祉施設体験

毎年、市内中学生を対象に、福祉の心を育むことを目的として行っていた「中学生夏休み福祉体験教室」がコロナ禍になり中止せざるを得ない状況です。そこで、高齢者との交流や福祉施設について知る機会を繋いでいきたいと、今年度初めて「オンラインでつながる福祉施設体験」を開催しました!

11月から12月にかけて、市内3中学校とその学区内の福祉施設をオンラインで結び、77名の生徒が参加しました。「福祉の明るく楽しいパワーが伝わるように!」「直接は会えないけれど、福祉に興味を持ってくれる人がいたら嬉しい」と各施設さまざまな方法で介護や福祉についてお話いただきました!



まずは施設内を案内してもらいます。利用者さんが毎日明るく楽しく過ごしてもらえるような設備や居室、介助方法や接する時の言葉選び等、気をつけていることや工夫していることを教えてもらいます。



つづいて交流を行います。利用者さんの横に職員さんがサポートでついてもらいつつ、中学生からインタビューを行いました。お互いに手を振り、楽しそうな雰囲気でした。

感想をうかがうと、「90歳を超えて初めての体験で緊張したけれど、とっても嬉しかったわ!」「緊張しすぎて舞い上がってしまって…本当に楽しかったです、ありがとう」と素敵な笑顔でお話いただきました。

サポートをしてくれている職員さんの様子から、日頃の寄り添った介護を垣間見ることができました。「利用者さんのこんな嬉しそうな顔が見れて、とても嬉しいです!」と話す職員さんも笑顔で、カメラを向ける私たちもあたたかい気持ちになりました。

参加してくれた中学生からは「利用者さんが楽しそうにいらして良いなと思いました」や「職員さんも働くことが楽しいと言っていて工夫もたくさんあってすごいと感じました」「機会があれば実際に行ってみたいと思いました」など、感想をいただきました。



地域福祉係
担当職員

最後まで、住み慣れた自分の家で暮らす事を選ぶ人もいますし、施設や病院を選ぶ方もいます。高齢者になったり、障がいがあったりしても、その人らしく生きられる場所があって、それをサポートする人達がいます。これは決して他人事ではなくて、いつか自分達の事や家族の事を考える事になるかもしれません。今回の体験が今からでも自分達に何ができるかを考えていくきっかけになれば嬉しいです。



●令和5年度亀山市社会福祉協議会正規職員を募集します

●採用人数／2名程度

●応募資格／昭和57年4月2日以降生まれの方
で、次のすべてに該当する方

(1)社会福祉の仕事や障がい児・者に理解の
ある方

(2)普通自動車運転免許を所有の方

または採用時まで取得見込みの方

(3)四年制大学を卒業の方

(4)通勤可能な方

※医療、福祉に関する専門資格をお持ちの方も
歓迎いたします

●試験の日時・場所など

日時…令和5年2月5日(日) 午前9時～

場所…亀山市社会福祉センター(亀山市若山町7-1)

試験科目…教養試験、小論文、事務適性検査、
職場適応性検査

※第1次試験に合格された方は、

令和5年2月19日(日)に実施予定の第2次
試験口述(面接)試験 をご案内します。

●受付期間／

令和5年1月4日(水)～令和5年1月27日(金)
午前8時30分～午後5時15分(土日・祝日を除く)

※郵便による申し込みは、1月27日(金)必着

●採用予定日／令和5年4月1日

●申込書の請求、提出、問合せ先

総務係 TEL 0595-82-7985

※詳しくは社協ホームページをご覧ください。

●ボランティア登録団体「亀の会」が 公益財団法人「博報堂教育財団」の「功労賞」を受賞されました

身体障害者手帳を持つ人たちが自分たちで
できるボランティア活動として平成11年から
会を設立。ふれあい教室(適応指導教室)との
交流や子育て支援センターなどへ贈るおも
ちゃ作り、高齢・障がい者施設で利用する
品作りなど幅広く活動して頂いております。
今回、長年の活動が教育分野で認められ功
労賞を受賞されました。おめでとうございます。



令和4年11月24日(木) 社会福祉センターにて受賞の報告会が行われました

●令和4年度 赤い羽根共同募金 実績報告

6,417,189円(令和4年12月1日現在)

皆様には、本年度も温かなご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。



善意の寄付 (令和4年9月1日～令和4年11月30日まで)

朝熊一紀様、北川 智様、東洋電装株式会社 亀山工場様

お寄せいただきましたご芳志は、社会福祉事業のため有効活用させていただきます。厚くお礼申し上げます。

亀山市の福祉指数(令和4年12月1日現在)

市総人口 49,485人 65歳以上の人口 13,473人(男性6,053人 女性7,420人)

世帯数 22,162世帯 18歳以下の人口 8,585人(男性4,446人 女性4,139人)

高齢化率 27.3%

印刷

株式会社 一誠堂

リサイクル適性(A)

再生紙を使用しています。

発行 社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

〒519-0164 亀山市羽若町545番地 市総合保健福祉センター「あいあい」内

☎ 0595-82-7985 FAX 0595-83-1578

公式HP <https://kameyama-shakyo.or.jp>

facebook <https://facebook.com/kameyama.shakyo>

facebookにて最新情報お届け中!!



亀山社協

検索

“いいね!” お待ちしています♪